

番号	作 品 名	作 家 名	貸 出 先	展 覧 会 名 等 ・ 期 間 ・ 備 考
72	災神を焼く残雪の夜(寄託作品)	酒井 三良	栃木県立美術館 茨城県近代美術館 群馬県立近代美術館	「北関東の文人画」展 1995 2.19～3.21 4.8～5.14 5.27～6.25

第3節 展 示 事 業

常設展示室では4回の展示替え(版画は8回)と1期の特集展示を行い、企画展示室では近現代における国内外の多様な美術を6つの展覧会によって紹介した。

1 常 設 展

- (1) 第 1 期 4月19日～7月4日
(2) 第 2 期 7月5日～10月1日
(3) 第 3 期 10月3日～12月25日
(4) 第 4 期 12月26日～4月2日
(5) 常設展特集

平成7年3月10日～3月26日

- (6) 無料観覧日の実施 5月5日、9月15日、11月3日
(7) 常設展入場者数

23,239人(有料16,240人、無料6,999人)

2 企 画 展

展 覧 会 名	会 期	入場者数
ル オ ー 版 画 展	6. 4. 23 ～ 5. 22	6,850
河 井 寛 次 郎 展	6. 6. 4 ～ 7. 10	7,915
ルネサンスの絵画展	6. 7. 16 ～ 8. 28	22,834
日 本 画 の 風 景 展	6. 9. 10 ～ 10. 16	11,397
ニ ュ ー ヨ ー ク ・ リ ア リ ズ ム 展	6. 11. 1 ～ 12. 11	7,208
没後100年 高橋由一展	7. 1. 10 ～ 2. 19	9,984

企画展入場者数

66,188人(有料58,660人・無料7,528人)

第4節 調 査 研 究 事 業

各種の研修会ならびに協議会等に出席し、また、多岐にわたる調査研究をすすめながら、成果の蓄積と館の機能の充実に努めた。その項目および概要は次のとおりである。

(1) 調 査 研 究 事 項

- ①作家 ②作品 ③技法 ④美術史 ⑤保存
⑥教育普及 ⑦展覧会 ⑧運営 ⑨県内外の展示施設
⑩美術館利用者の動向他

(2) 重 点 調 査 研 究 事 項

- ① 福島県出身作家基礎調査
② 幕末～近代の福島的美術調査

第5節 普 及 事 業

美術の表現と鑑賞のよこびをより深めるために、さまざまな視点による事業を行った。その概要は次のとおりである。

1 講 演 会 の 開 催

日 時	演 題 / 講 師	聴講者数
6/26(日)	河井寛次郎の世界 水尾比呂志(美術評論家)	180名
7/24(日)	南と北のルネサンス -その特質と比較- 若桑みどり(千葉大学教授)	240名
9/15(木)	山水から風景へ 酒井哲朗(三重県立美術館長)	210名
1/22(日)	東北の高橋由一 青木 茂(美術評論家)	100名

合計：730名

2 映 画 会 の 開 催

講堂において、午前、午後の2回上映(無料)

上 映 映 画	期 日	入場者数
時計じかけのオレンジ	5/15	100名
シャイニング	6/19	120名
ロミオとジュリエット	7/17	200名
転校生	8/21	80名
魔市	9/18	150名
波止場	10/16	100名
タクシードライバー	11/20	90名
にぎりえ	2/19	120名
それから	3/19	150名
		合 計 1,110名